

仕事に必要な日本語教育



仕事に必要な日本語力というのは、上司への確認、報告、相談をしたり、会社のルールやマナーを理解することも含まれます。当協会の経験豊富な日本語教育のプロが、対面またはオンラインでの日本語指導を行います。

【受入側と就労者の誤解(イメージ)】



外国人就労者は、質問や説明のしかたが分からず、あいまいな返事をしたり、必要なことを伝えていなかったりすることがあります。

また、母国語での言い方をそのまま日本語にしたために、日本人にとって失礼な表現になり、不快な思いをさせてしまうこともあります。

このような「仕事に必要な表現や伝え方、答え方」を中心に、必要な時に日本語で説明できるよう、他の外国人就労者とともに学び、練習します。

☹ 受入企業様 ☹	☺ 外国人就労者 ☺
わかっていないのに、「わかりました」という。	→わからないことに対する具体的な質問のしかたがわからない。 →「分からない」と言ったら失礼になると思っている
大事なことを報告しないまま帰った。	報告すべきこととそうでないことの線引きがよく分からなかった。何も聞かれないので、明日言えればいいと思った。
指示されたとおりにできなかったのに、何も言わなかった。	→どう言えばわからなかったため、忙しい上司に迷惑をかけてはいけないと思い、先輩に聞こうと思った。